

生活圏の低線量化のための遮蔽壁の検討1

2012/4/8

於飯舘村佐須地区

目的：除染した土地を遮蔽壁で囲む事により
周りからの放射線の寄与を低減し
生活圏の低線量化を図る

実験：ブロック塀（穴はモルタルで塞ぐ）
一枚分の遮蔽壁を作り
前後の線量を比較する

結果：除染前 2.2 $\mu\text{Sv/h}$



除染後、ブロック塀遮蔽壁の設置
その内部 0.6～0.9 $\mu\text{Sv/h}$



考察：線量が少し残るのは、周りからのガンマ線の遮蔽が十分ではないためである
しかし、ブロック塀一枚でもかなりの遮蔽効果が見られる。
今後、二重、三重のブロック塀や他の材質による遮蔽壁を試験する